

## 利水安全度について

平成18年10月10日  
近畿地方整備局

## 利水安全度について

### 国土交通省HP『現況の利水安全度 1/13』について

琵琶湖の水位-1.5mを下回った回数を数えたもので、大正7年～平成6年(77年間)では5回となり、1/13としています。

これと同様の考え方で、最近の昭和54年～平成10年(20年間)では4回となり、1/4となります。

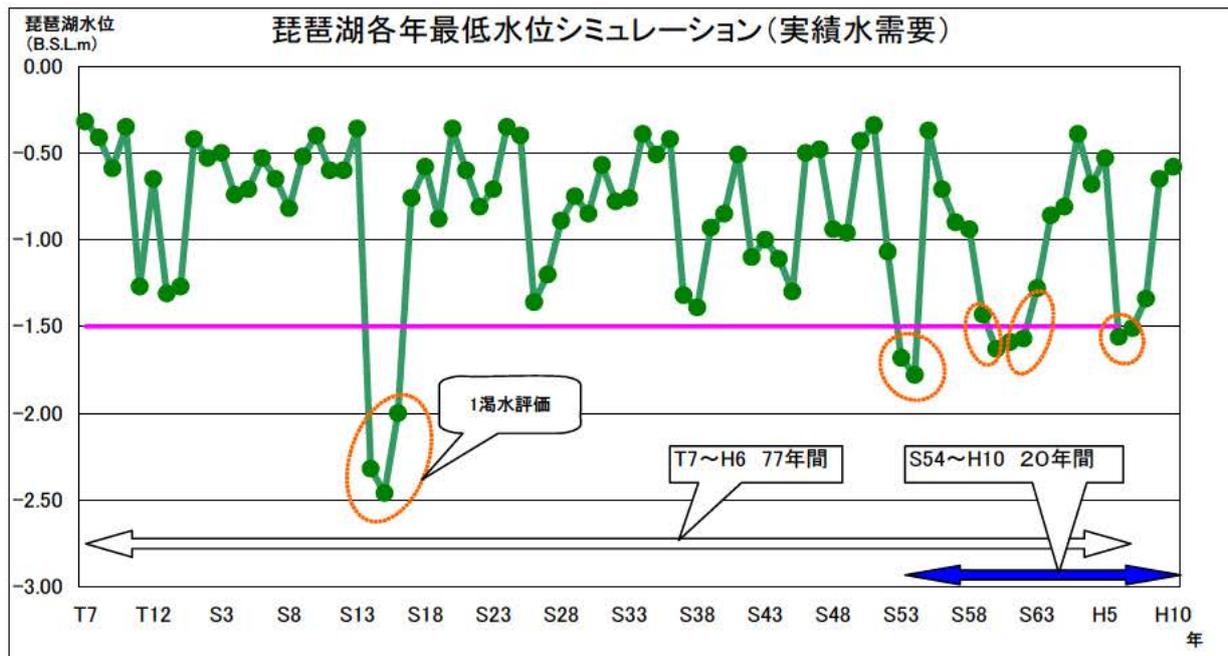
### 近年の少雨化傾向による利水安全度の低下について

通常の水資源開発施設の利水安全度は1/10で計画されています。

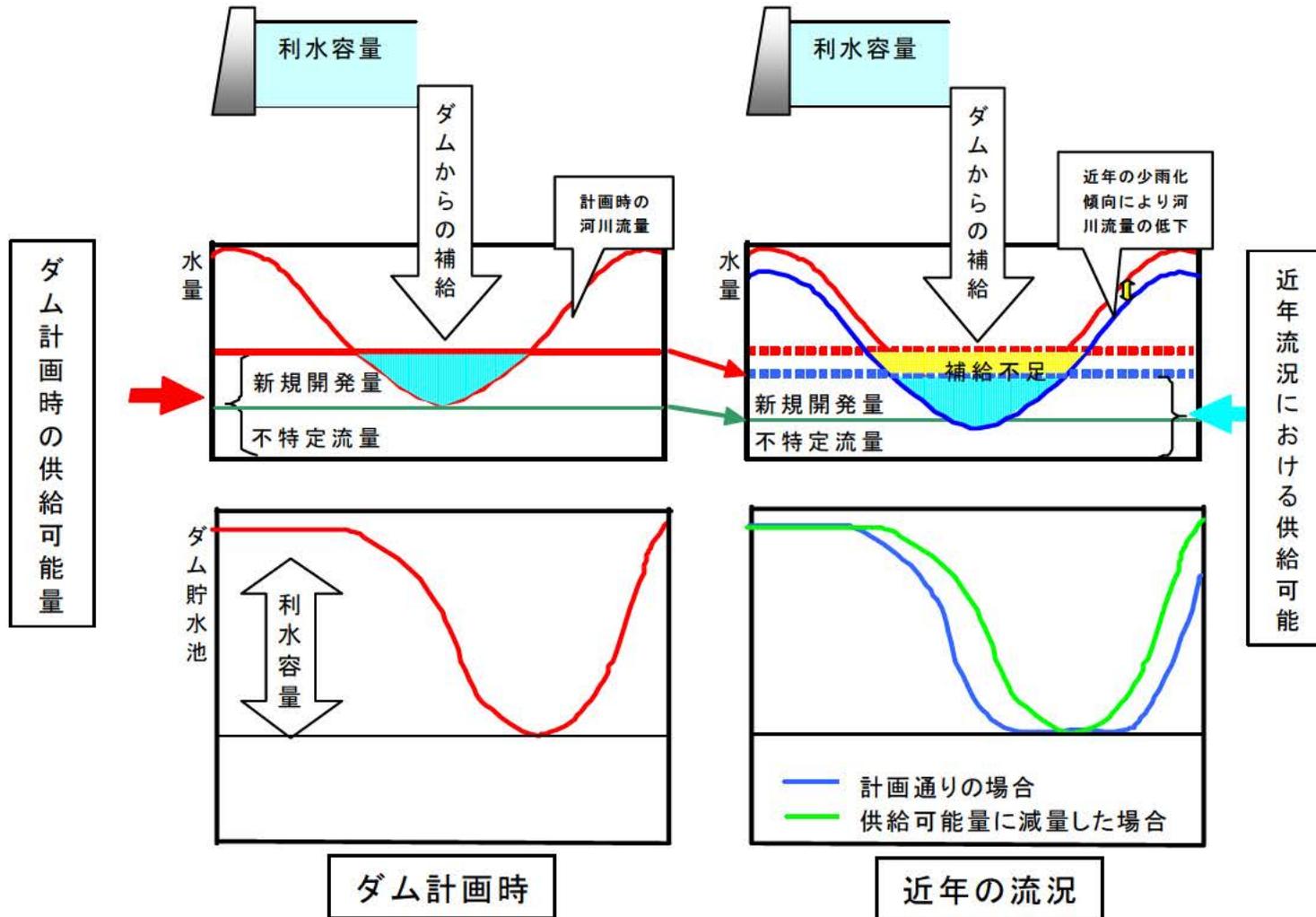
つまり10年に一回利水容量を使いきることとなりますが、近年の少雨化傾向によりこの頻度が多くなっています。

昭和54年～平成10年(20年間)で、1/10の安全度を持たせるために、開発水量を順次少なくしたトライアル計算を行うと、計画当時の開発水量に対し約8割しか実力がありません。

たとえば、琵琶湖総合開発事業の計画当時の40m<sup>3</sup>/sに対し約8割の実力で約32m<sup>3</sup>/sとなります。



# 各施設利水供給能力



# 利水安全度の計算

(各施設ごとに計算)

